

東日本大震災を経た日本の再生に向けて

2011年7月11日

AMITAは仙台から、日本再生をスタートいたします。

震災復興から人災復興へ。

2011年3月11日、大災害が東日本を襲いました。行方不明者及び死者の数2万人以上。その瞬間に日本が築き上げてきた近代の仕組みもすべて破壊され、最先端科学の象徴であった原子力発電所も、脆くも破壊され、まだ収束に至っておりません。

一方、この近代化の進んだ日本では、1998年以降、毎年3万人以上の方が、失業、疾病や漠然とした未来への不安感などの理由により、自ら命を絶つという現実が13年間続いています(警察庁資料より)。これは何を意味するのでしょうか。

いまこそ、新しい「未来」を構築しなければなりません。私たちは、まさに今、これまで中世において築かれた「安心社会」、そして近代に築かれた「信用社会」が崩れ始めていると感じています。その修復は既存のルールの徹底遵守や、人の監視を強化するやり方では、無理であろうと感じております。

AMITAは創業以来、「価値とは何か？」を30年以上問い続け、無価値とみなされているものを利活用する「再生」技術で、資源・エネルギーの再生から森林、そして里山・里海の再生までを手がけてまいりました。

しかしながら、未だみなさまに胸を張ってお示しできる「未来」をかたち創るまでには至っておりません。小手先の仕組みや情報システムの導入といったことではなく、そこに集う人々が希望に充ち、人々の共感が自然に増幅していき、豊かな時を共に過ごせるそんな「信頼社会」を、私たちは本気で作りたいと考えているのです。

私たちは、震災にあわれたみなさまの復興支援がまさに、「信頼社会」をつくることそのものであると考え、みなさまと復興の歩みを共にしたいという思いから、仙台に拠点を構え、鋭意「信頼社会づくり」に現場で取り組むことにいたしました。

私たちAMITAは30年以上に渡って培った再生技術をコアとして、日本の未来づくりを、震災にあわれたみなさまと共に実現することをここに誓います。

2011年7月11日

アマタホールディングス株式会社

代表取締役会長兼社長

熊野英介